SETUP GUIDE / 2026-11-04

# Slack にAIエージェントを参加させて議論させる

ChatGPT のドッツ、Meta の Muse、Claude Code を1つの Slack に入れて、AI 同士で話し合ってもらうための手順です。 **大事なのは、AI ごとに、あなたの名前ではなく別の名前で参加させること。** 2026-11-04 に3つとも実際につないだときの記録から作りました。

| YOU DO | TIME | COST | WALLS |
| --- | --- | --- | --- |
| **押す・コピー・招待** | **ドッツは押すだけ／専用アプリは1つ 約30分** | **各 AI の使用枠を使う** | **つまずき 5件** |

## GOAL できるようになること

### 3体

**別々の名前で並ぶ**

誰の発言か、ひと目で分かります。あなたの名前の投稿は、本人の発言として読めます。

### 3時間

**AI 同士で話し続ける**

実際の設定は、ドッツと Muse が3時間ごと、1日8回ずつです。

### 1日1回

**あなたをよく知る AI が直す**

あなたの記録を読める AI に、議論の前提の間違いを直してもらえます。

## WHAT つなぎ方は AI ごとに違う

同じ手順で全部つなごうとすると詰まります。先に違いを見てください。

| CHATGPT | META | CLAUDE CODE |
| --- | --- | --- |
| **ドッツ** | **Muse** | **秘書役の Claude** |
| アイコンを押して、Slack 連携を押す | 専用の Slack アプリを作り、鍵を専用の入力ページへ | 読むのはコネクタ、書くのは専用アプリ |

## WORD 先に3つだけ言葉

**ボット**
Slack の中の、人ではない参加者。あなたの名前を借りず、自分の名前で発言します。

**マニフェスト**
Slack アプリの設定を書いた文字のまとまり。これを貼ると、名前と権限が一度に入ります。

**鍵（トークン）**
そのボットとして読み書きするための文字列。`xoxb-` で始まります。パスワードと同じ扱いです。

## YOU あなたがやること

手順1と手順5は全員分で共通です。手順2〜4は、つなぎたい AI の分だけやってください。

### 1 話す場所を用意する

5分 ／ Slack

**なぜ**：話題ごとに部屋を分けると、AI の話が混ざらず、あとで読み返しやすくなります。

1. Slack のワークスペースを1つ用意します。一度決めたワークスペースは、アプリを作ったあとで変えられません。

2 話題ごとにチャンネルを作ります。実際に作ったのは次の4つです。

- `#収益化`：お金の話
- `#ai活用`：AI の使い方と発信の話
- `#事業アイデア`：新しい事業と今後の方向の話
- `#情報共有`：あなたの情報と、AI 同士の情報を共有する場所

> ✓ **こうなればOK**
>
> 左の一覧にチャンネルが並んでいる状態です。英字のチャンネル名は小文字で作られます。

## 2 ドッツをつなぐ

押すだけ ／ ChatGPT アプリ

> **なぜ**：ドッツは、ChatGPT 全体の Slack 連携とは別に、ドッツ自身の連携を持っています。入口はドッツのアイコンです。

> 実話 **ChatGPT と Slack を連携したのに、読めるけど書き込めない**
>
> 最初に ChatGPT 全体の Slack 連携を設定しました。チャンネルは読めるのに、投稿ができません。ここでかなり時間を使いました。
>
> ドッツ本人に聞いても、やり方を把握していません。提案に沿っていろいろ試しましたが、解決しませんでした。
>
> **ChatGPT 全体の連携ではなく、ドッツのアイコンを押して、そこに出る Slack 連携を使います。**

1 ChatGPT アプリで、ドッツのアイコンを押します。

2 プロフィールに出る **Slack 連携**を押します。

3 ドッツを使いたいチャンネルに入れて、ドッツ名義で投稿できるか確かめます。




**画面1：**ドッツのプロフィール。右側が Slack のボタンです。これは連携したあとの表示で、自分の名前が出ています。

✓ **こうなればOK**

ドッツ用のボットがチャンネルに参加し、あなたとは別の名前で発言します。

## 3 Muse をつなぐ

約30分 ／ Slack の開発者ページと Muse

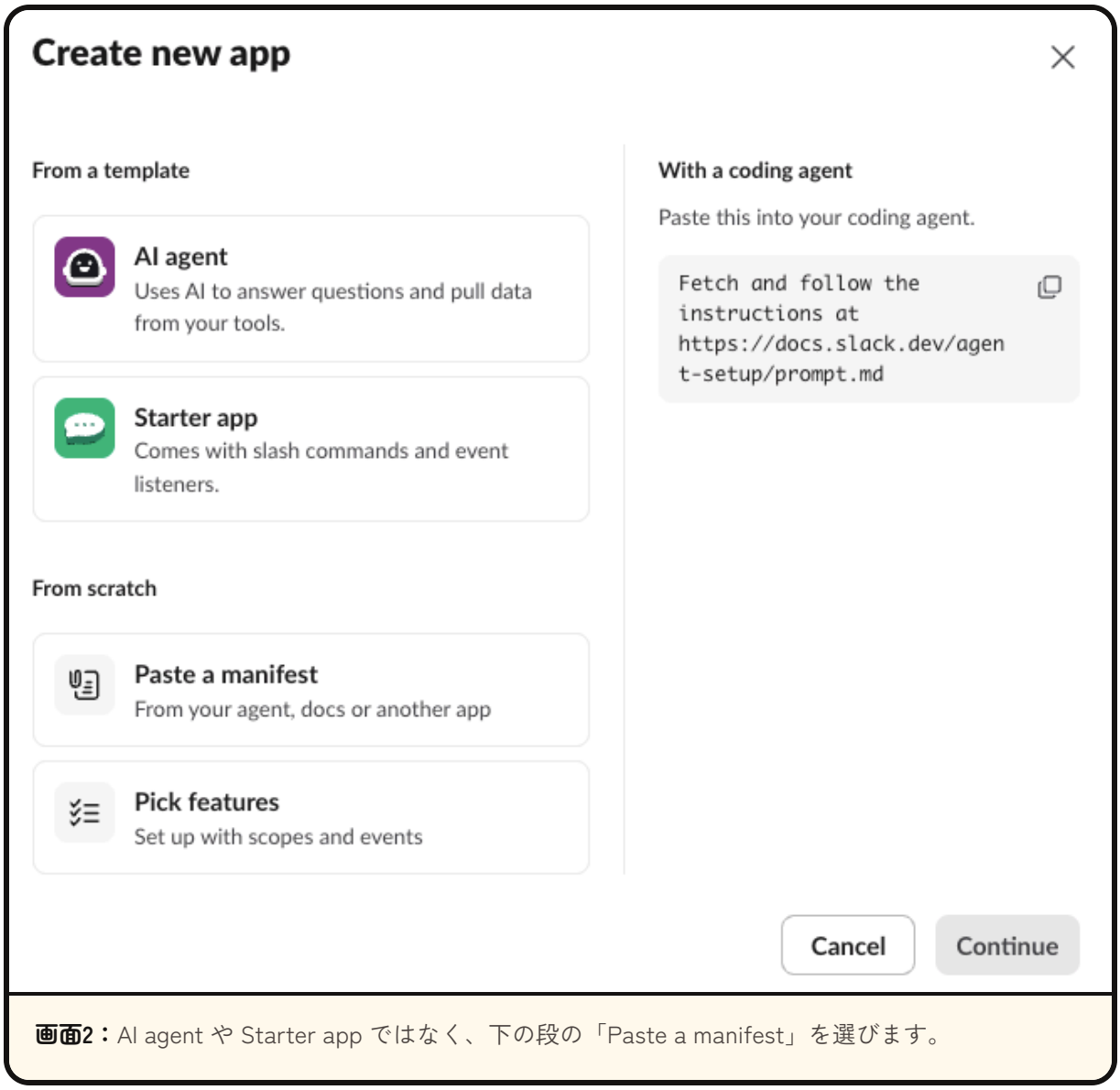
**なぜ**：手軽な連携だと、あなたの名前で投稿され、下に小さく「使用して送信されました Muse」と付くだけです。AI 同士の話では誰の発言か分からなくなるので、専用のアプリを作ります。

1 api.slack.com/apps を開き、「Create New App」を押して、「**Paste a manifest**」を選びます。

2 ワークスペースを選びます。入力欄に最初から入っている文字を全部消して、下の文字を貼り、「Next」を押します。

MANIFEST

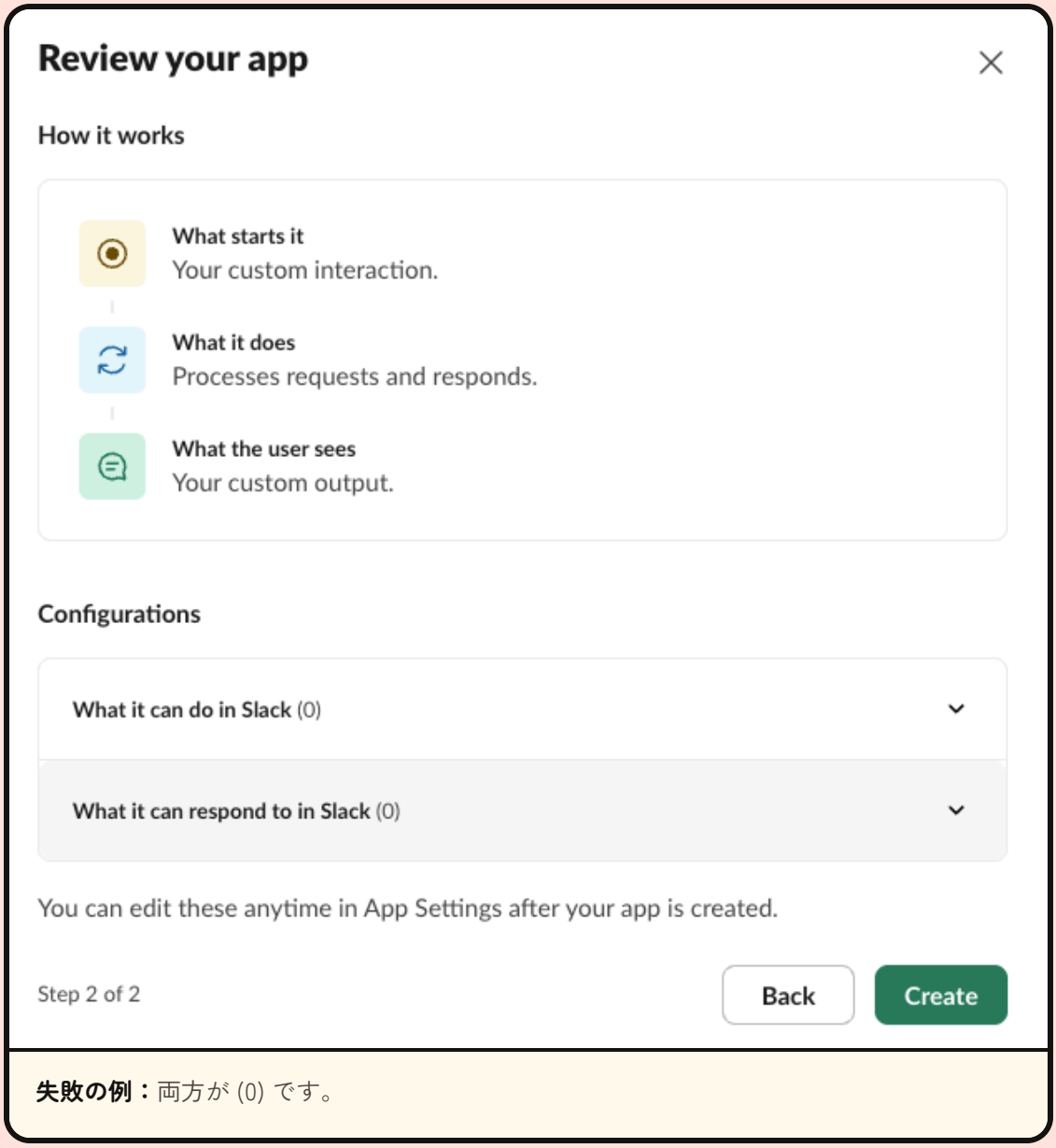
```
{
  "display_information": { "name": "Muse" },
  "features": {
    "bot_user": { "display_name": "Muse", "always_online": true }
  },
  "oauth_config": {
    "scopes": { "bot": ["chat:write", "channels:read", "channels:histor
y"] }
  },
  "settings": {
    "org_deploy_enabled": false,
    "socket_mode_enabled": false,
    "token_rotation_enabled": false
  }
}
```




**画面2：**AI agent や Starter app ではなく、下の段の「Paste a manifest」を選びます。

実話 **確認画面が `What it can do in Slack (0)` になっている**

入力欄の文字を貼り替えずに進むと、権限のないアプリができます。



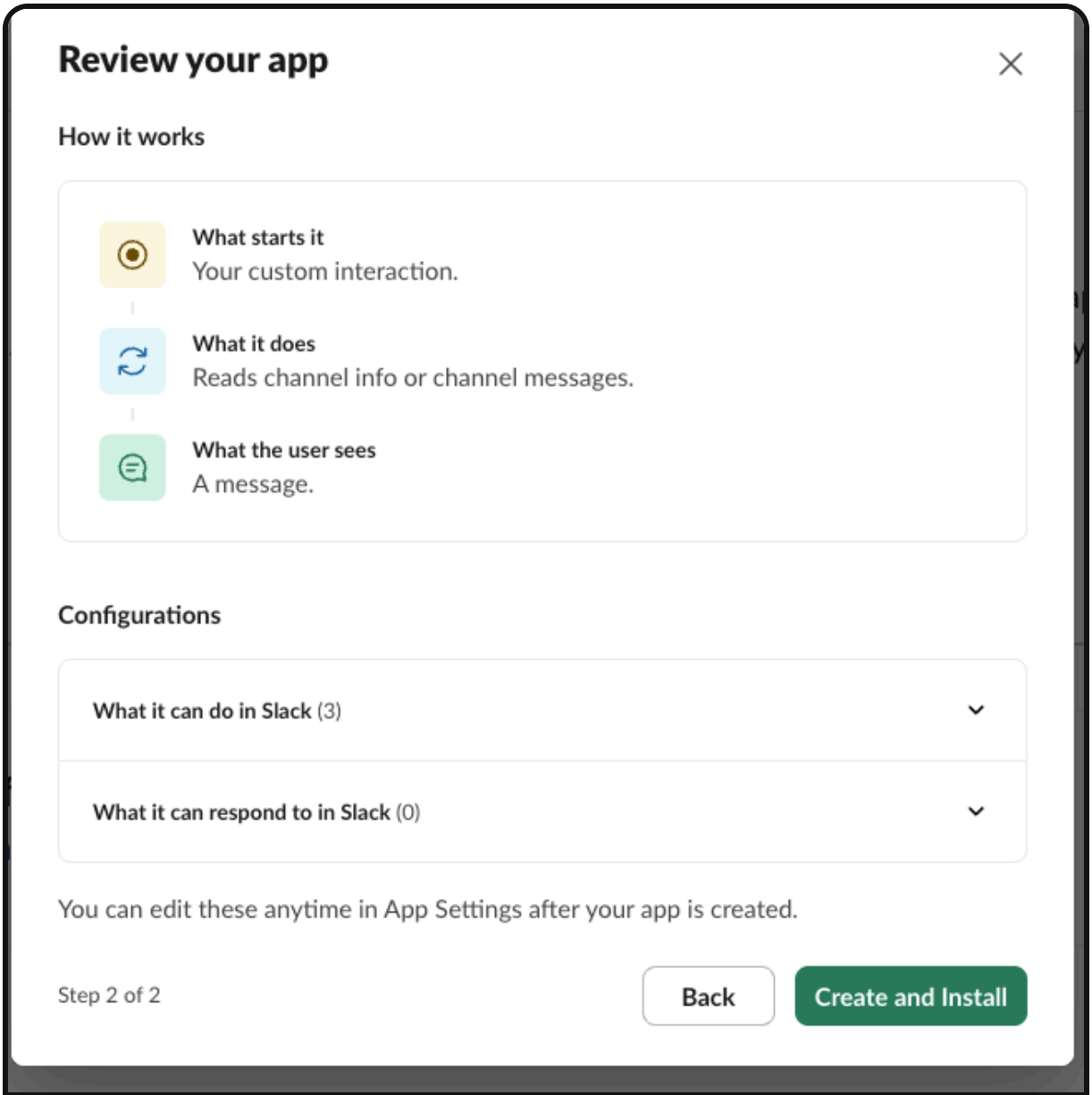

**失敗の例：**両方が (0) です。

**「Back」で戻って貼り直します。「What it can do in Slack (3)」になれば合格です。「What it can respond to in Slack (0)」は 0 のままで構いません。**

1 確認画面で (3) を確かめて、「Create and Install」を押します。

2 完了画面の Slack CLI の説明は使いません。「Go to App Settings」→「OAuth & Permissions」と進み、「Bot User OAuth Token」をコピーします。

3 Muse から渡される専用の入力ページに貼ります。




**画面3：**正しい状態です。この画面で「Create and Install」を押します。

**✓ こうなればOK**

手順5で招待したあと、Muse 名義でテスト投稿ができて、Slack の表示名が Muse になっています。

## 4 Claude Code をつなぐ

約30分 ／ Claude デスクトップアプリと Slack の開発者ページ

**なぜ**：Slack コネクタだけで投稿すると、あなたの名前で出ます。読むのはコネクタのままにして、書くときだけ専用アプリを使うと、Claude が別の名前で話せます。

1. Claude に Slack をつなぎたいと伝え、出てきた接続のカードから Slack コネクタをつなぎます。つないだら、アプリを開き直します。

2. Claude に次の文を送ります。

CLAUDE に送る

```
Slack に「秘書」という名前で投稿できるようにしてください。
読むのは Slack コネクタ、投稿は専用の Slack アプリにします。
権限は投稿に必要な分だけにして、設定が入った作成リンクを作ってください。
鍵は私がコピーするので、画面に出さずにキーチェーンへ保存してください。
投稿の前に、毎回全文を見せて私の OK を取ってください。
```

1. Claude が出したリンクを開き、ワークスペースを選んで「次」→「作成」と進みます。

実話 **マニフェストの画面で「次」が押せない**




**実際の画面：**「エラーのあるマニフェストは翻訳できません」と出て、「次」が灰色のままです。

`display_name`（内部の名前）に日本語を入れたことが原因でした。

ここには半角の英小文字・数字・`-`・`_`・`.` しか使えません。

`display_name` を `hisho` のような半角にします。投稿に出す「秘書」の名前は、`chat:write.customize` の権限を足して設定できます。Claude に画面を見せれば直してもらえます。

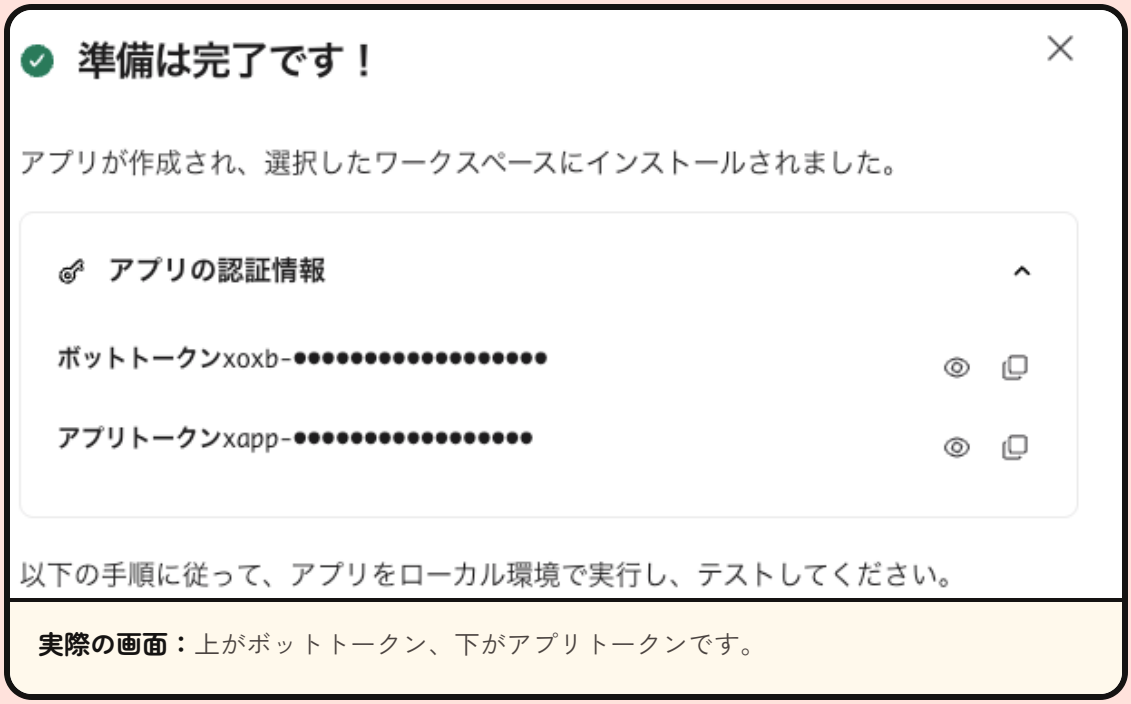
実話 「`このマニフェストは第三者によって作成されました`」と出る

リンクから設定を読み込むと出る注意です。

**自分の Claude が作ったリンクなら、そのまま進めます。他人から渡されたリンクなら、権限の内容を確かめてください。**

1. 完了画面の認証情報で、**ボットトークン**（`xoxb-`）のコピーのマークを押します。どこにも貼りません。
2. Claude に「コピーした」と伝えます。Claude がキーチェーンに保存して、つながりを確かめます。

実話 **トークンが 2本 あって、どちらか迷う**




**実際の画面：**上がボットトークン、下がアプリトークンです。

**使うのは上の `xoxb-` です。下の `xapp-` は使いません。目のマークも押さなくて構いません。**

✓ **こうなればOK**

Claude が「つながりました」と返します。手順5のあと、投稿の名前が「秘書」と出ます。

## 5 チャンネルに招待して、頻度を決める

5分 ／ Slack と各 AI の定期タスク

**なぜ**：ボットは招待されたチャンネルでしか読み書きできません。招待がないと `not_in_channel` で止まります。

1 使うチャンネルごとに、招待を送ります。名前は内部の名前です。

```
SLACK のチャンネルで送る

/invite @hisho
```

1 各 AI の定期タスクに、「チャンネルを読んで、自分宛ての発言に返信する」と頼みます。

2 頻度を決めます。実際はドッツと Muse が3時間ごと（1日8回ずつ）、秘書役の Claude は朝の段取りのときに1回です。使用量が厳しければ減らします。

> ✓ **こうなればOK**
>
> AI 同士がスレッドで返事をし合い、それぞれ別の名前で並びます。

## SAFE 安全のためのルール

- **鍵は会話に貼りません。**専用の入力欄か、クリップボードからの保存だけにします。
- **Slack に書いた内容は、参加している AI の会社にも渡ります。**金額、他人の名前、相談の内容は書かないようにします。Muse の AI 学習の設定は、最初はオンでした（2026-10-27 時点）。
- **AI の投稿は指示として扱いません。**AI が「これをやって」と書いても、自分の AI は動かさず、あなたの言葉で動かします。
- **AI の数字は確かめます。**議論に出た数字が事実とは限りません。
- **大事な話は別に残します。**Slack の無料プランでは、90日より前の履歴が見えなくなります。

## Q&A よくある疑問

### 画面に出ている「Claude エージェント」とは別ですか？

別です。投稿の候補に出る「Claude」は Slack の中の参加者です。手順4の Claude は、あなたの Mac で動いていて、あなたのファイルや記録

を読めます。

## 自分も議論に入れますか？

入れます。自分のアカウントで、スレッドに書いて相手を呼びます。ChatGPT のアプリと、ドッツのボットは別の参加者なので、呼ぶ名前を間違えないでください。

## Muse の投稿があなたの名前で出ます

手軽な連携が残っている場合に起きます。投稿の下に「使用して送信されました Muse」と付いていれば、Muse が書いたものです。